



修理完成記念特別展

国宝3点が一堂に揃う！

糸のみほとけ



— 国宝 綴織當麻曼荼羅と繡仏 —

平成30年7月14日〔土〕～8月26日〔日〕

主催：奈良国立博物館、読売テレビ、日本経済新聞社


奈良国立博物館
Nara National Museum

〒630-8213 奈良市登大路町50番地(奈良公園内)
ハローダイヤル：050-5542-8600

右：国宝 綴織當麻曼荼羅(部分) 奈良當麻寺

左：上：国宝 天寿国繡帳(部分) 奈良中宮寺

左：下：国宝 繡織釈迦如来説法図(部分) 奈良国立博物館

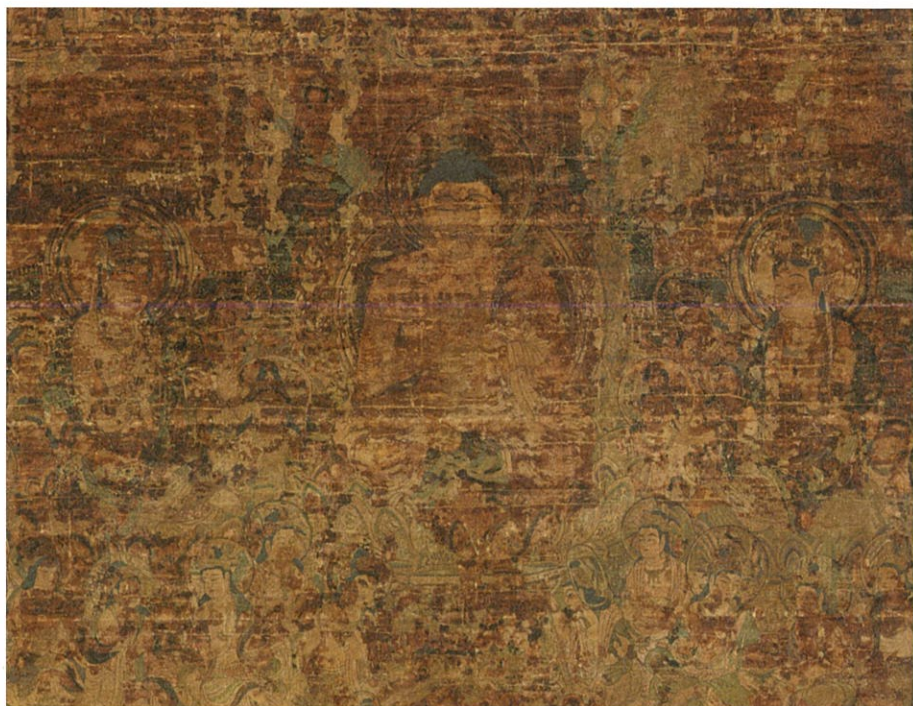


糸のみほとけ

— 国宝 綴織當麻曼荼羅と繡仏 —

日本では刺繡や綴織など「糸」で表された仏の像が数多く作られました。とりわけ、古代では大寺院の一堂の本尊とされる花形的存在でした。綴織當麻曼荼羅(国宝、奈良・當麻寺蔵)や刺繡釈迦如来説法図(国宝、奈良国立博物館蔵)は、その隆盛のさまを伝える至宝です。また、糸を縫い、織る行為は故人の追善につながり、聖徳太子が往生した世界を刺繡で表した天寿国繡帳(国宝、奈良・中宮寺蔵)が生み出されました。鎌倉時代以降、刺繡の仏は再び隆盛を迎えますが、その背景には綴織當麻曼荼羅を織ったとされる中将姫に対する信仰がありました。極楽往生を願う人々には中将姫に自身を重ね刺繡によって阿弥陀三尊米迎図や種子阿弥陀三尊図を作成しました。

この展覧会は綴織當麻曼荼羅の修理完成を記念し、綴織と刺繡による仏の像を一堂に集める特別展です。綴織當麻曼荼羅、天寿国繡帳、刺繡釈迦如来説法図の国宝3点が一堂に会する空前の企画です。本展を通して絵画とも違う「糸」の仏の世界の魅力をご鑑賞いただけます。



国宝 綴織當麻曼荼羅(部分) 奈良・當麻寺



国宝 天寿国繡帳 奈良・中宮寺



国宝 刺繡釈迦如来説法図 奈良国立博物館



刺繡種子阿弥陀三尊米迎図 京都・真正極楽寺



刺繡種子阿弥陀三尊米迎図 京都・禪林寺



刺繡六字名号 京都・宝鏡寺



交通案内 / 近鉄奈良駅下車徒歩約15分、JR奈良駅・近鉄奈良駅から市内循環バス(外回り)「氷室神社・国立博物館」下車すぐ

奈良国立博物館

Nara National Museum

奈良国立博物館ホームページ <http://www.narahaku.go.jp/>